

## ◎プランニング・スタディと「宿泊基準階型の建物」

本章ではプランニングの基礎知識を順に示してきました。ここから先はこれらの知識をきちんと理解し、的確に使いこなせるよう応用力を養っていくことが不可欠となります。そこでp.66～75までプランニング・スタディのためのミニ課題を用意しました。基礎的な事項を確実に理解して使いこなすための練習として、検討要素の少ない単純な課題からスタートして、徐々に要素を増やし、製図試験課題に匹敵するような課題まで計7題、いずれも「宿泊基準階型の建物」を扱っています。

### □「宿泊基準階型の建物」を取り上げた理由

p.66以降のミニ課題で取り上げる「宿泊基準階型の建物」とは、一般的な公共施設である下階（1階もしくは1、2階）の上に、宿泊室の並ぶ基準階が乗っている形式の建物をいいます。通常この基準階には、同じ大きさ、同じ形の「宿泊室」が規則的に並んでいます。この並べ方には定石があり、選択肢が限定されているため、慣れてしまえばプランニングは比較的容易です。

また、基準階のプランニングの自由度は小さく、コアの配置が限定されるため、上下階の都合を同時に判断しながらコアの位置を決める通常の計画に比べ、コアの配置は容易です。

こうした「容易さ」から、プランニングの実践練習の素材として「基準階型の建物」は課題にする対象として最適です。また本年度製図試験の課題が基準階型の施設ではないとしても、判断すべき要素を少なくしぼり込み、部分的な判断を積み上げつつ建物全体を組み立てる練習としてぜひ取り組んでください。

### □建物→ゾーニング→プランニング

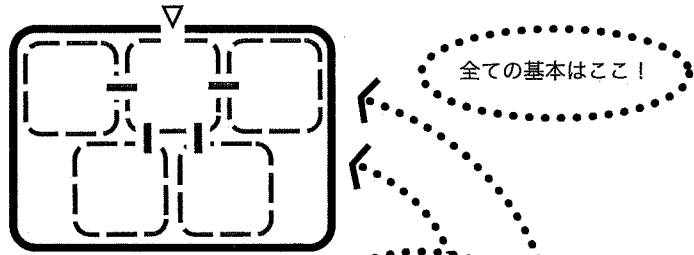
動線図は、部屋や部門の相互関係を示した図です。空間の構成を示してはいますが、空間の大きさや形、位置といった情報は含まれていません。逆に言うと、大きさや形、位置を気にせず描けるのが動線図です。そのため、課題文から得られる情報に建築的な常識を加味すると比較的容易に描くことができます。

ゾーニング図は、動線図に大きさの情報を加味して、ゾーンごとの形や位置を判断して描くものです。建物の全体規模をはじめ、主要な所要室の大きさは課題文で指示されるのほぼ確定しているものですが、形や位置についてはごく一部しか指示されていないため様々な可能性が考えられ、従って適切な判断が求められます。

プランニングという作業はゾーニング図をもとに進めますが、通常ゾーンという外枠の中に諸室の面積指示に従いつつ、形と位置を決定していく作業です。つまり、建物全体という外枠の中にゾーン（多くの場合、部門と同義）を並べていくゾーニングと、ゾーンという外枠の中に諸室を並べて行くプランニングは、極めて類似した作業であり、ともに形と位置の、検討と判断しています。

■いくつかの部屋で構成された建物

2LDK 住戸のプランニング、  
あるいは、  
管理部門だけのプランニングに等しい

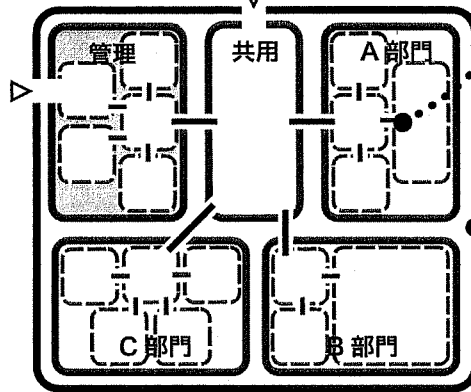


■公共施設の基本的な構成

いくつかの部門による構成  
各部門はいくつかの部屋からなる

全室を一度に計画するのは困難

- 部門を1つのかたまりとして見る  
= 数個のかたまりで構成されている
- 各部門ごとに見る  
= 数室で構成されている



立体化！ = 「コア」の出現

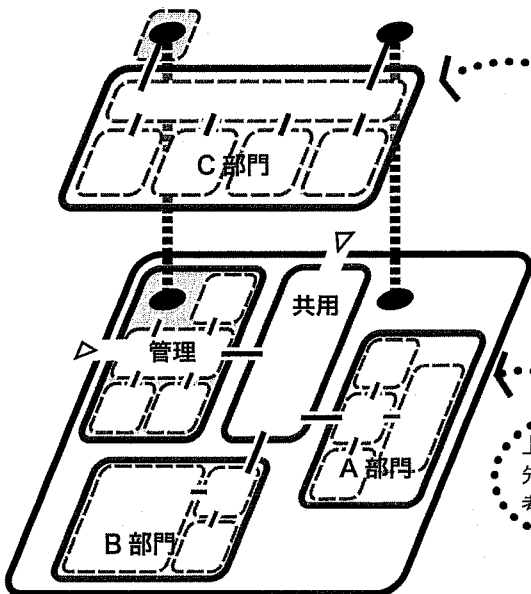
■製図試験で出題される施設の構成

通常、2階建て以上の建物

- ・上階のプランニング
  - ・下階のプランニング
  - ・上下階に影響を及ぼすコアの配置
- これらを同時に検討するのは容易ではない

プランニング練習は  
「わかりやすいもの」から徐々にステップアップ

迷う要素を少なくできる  
「宿泊基準階型の建物」で練習しよう！

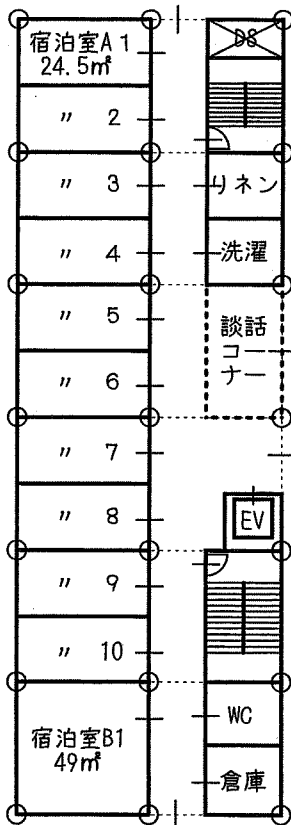


動線図と  
近似する  
平面図

上階のコアを  
先に決めてから  
考える

- 上階（宿泊基準階）の計画：
  - ・同じ大きさ、形の「宿泊室」が規則的に並ぶ平面  
= 「大きさ」「形」「位置」といった要素が単純  
→ 迷う要素が限定され、プランが容易
  - ・定型的な平面形があり、コアの位置が限定される  
→ 迷う要素が少なく、プランが容易
- 下階の計画：
  - ・「宿泊基準階」が成立するコア配置の優先が原則  
= コア配置の選択肢が限定される  
→ 迷う要素が少なくなり、プランが容易

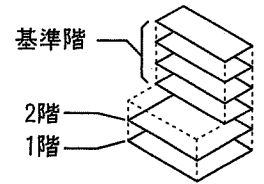
## ●宿泊基準階の基礎知識



### □基準階とは

基準階とは、同一形状の平面が何層も積み重なる階のこと。

基準階のプランニングは、まず先にシンプルな基準階の「型」を想定して、それが成立するように、下の階を決めていくとよいです。そしてこの手順は、プランニングをする上で基礎的な要素をわかりやすく含んでいるので、プラン練習にはもってこいなのです。ここでは、宿泊施設タイプの基準階プランについて、まず学習していただき、その後、基準階をテーマにしたミニ課題にチャレンジしてみてください。



### □基準階という「型」

シンプルなプランを描ける人は「型」を利用の仕方を理解しています。

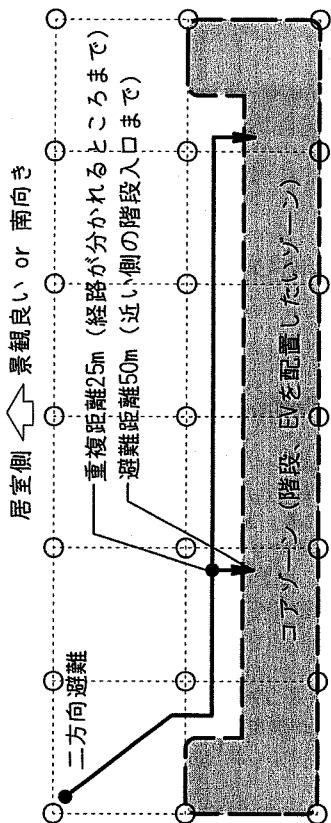
「型」とは、いったいどんなものなのでしょうか。それをひとことで表現するなら、「建築的常識（ルール）を守っている中で、最もシンプルな基本のかたち」「いろいろな要素が既に組み合わせられたセット」と言ってもよいかもしれません。

#### ▶基準階で組合わされた要素

- ①廊下がまっすぐ通り、同一タイプの室が整然と並ぶ
  - ②2階段で、二方向避難がとれている
  - ③柱割りと室面積、間口数が整合している
- その他 建物内から、宿泊室がのぞかれない（プライバシー）等

### □宿泊基準階の「I型」

左図のような形状を、宿泊基準階「I型（あいがた）」と呼びましょう。宿泊基準階「I型」は、2コマ×6コマの単純な形状です。南向きや景観のよい間口の側を宿泊室ゾーンとし、間に廊下を挟み、コアゾーン（階段、EV、小部屋等）があります。



### □二方向避難

災害時の避難経路は2つ設けましょう、という法規です。避難階以外の階は、

- 避難距離：(2つあるうち近い側の) 階段の出入口までの距離 50m
- 重複距離：2つある階段への避難経路が重複する距離 25m

を確保する事が必要です。

### □コアの位置は、全ての階を見て決める

#### ▶宿泊室ゾーン—廊下—コアゾーン

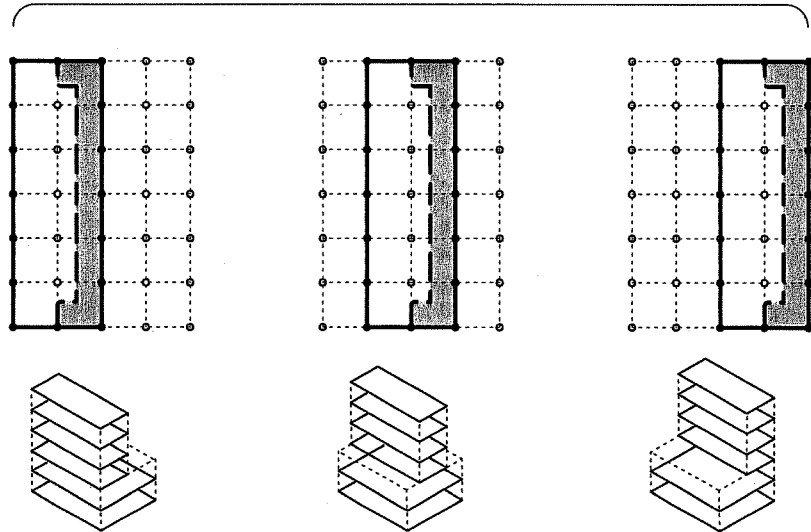
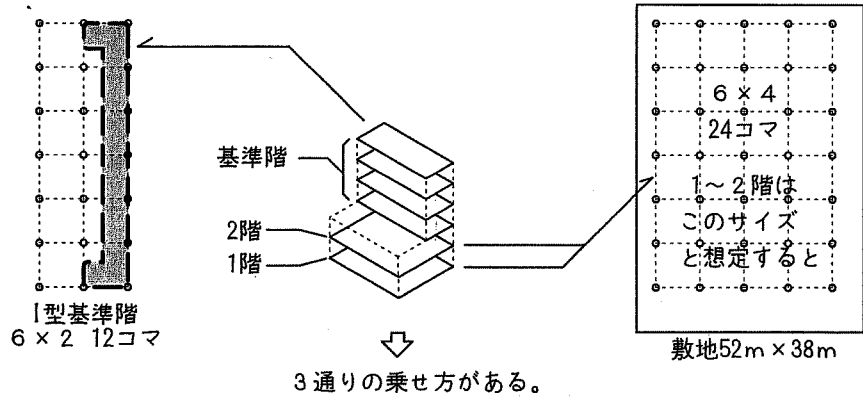
この3つの要素で基準階の形状が決まりますが、この中で一番重要になるのが、コアゾーンです。では、なぜコアゾーンが最重要なのでしょう？

なぜなら、コア（EVや階段）の位置は、この階の都合だけではなく、全ての階に影響を与えるからです。

### □宿泊基準階を乗せる位置とコアゾーン

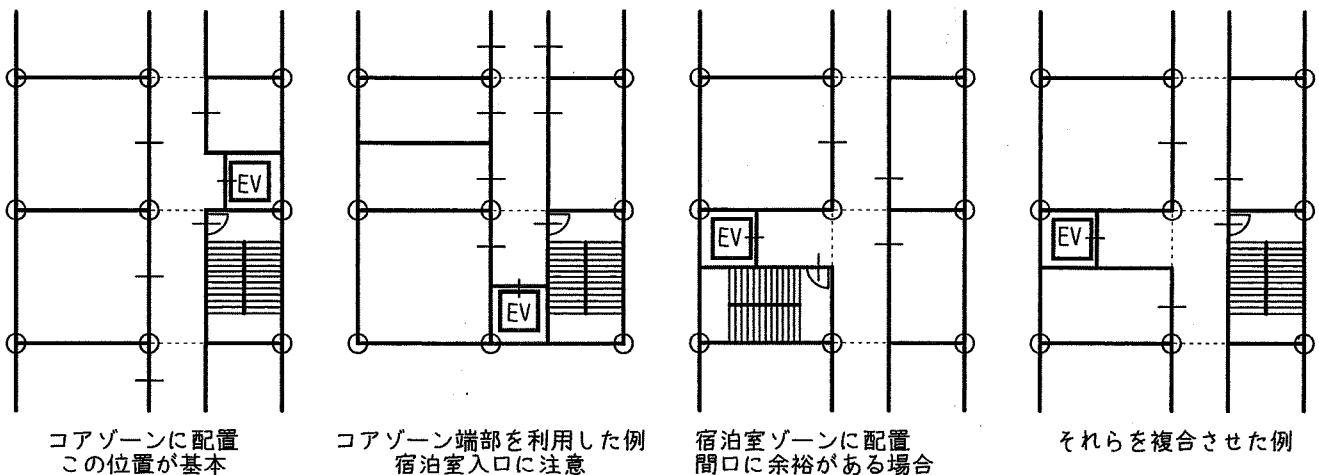
1階、2階に一般階があり、3階以上に宿泊基準階「I型」の乗る建物を想定してみましょう。コアは、コアゾーンの中で動くわけですが、基準階の乗る位置を動かすことで、コア配置が、より自由になります。

ただし、下の階に配置を阻害するもの（広場、柱抜きの室、天井高指定の室、トップライト等）がある場合には、それらが基準階とバッティングしないように配慮する必要があります。



### □コアの配置の具体例

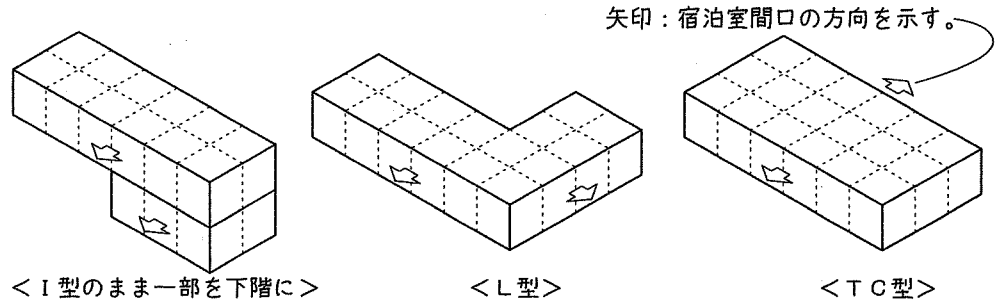
宿泊基準階「I型」のコア配置の具体例です。配置の基本はコアゾーンに設ける事ですが、条件によっては宿泊室ゾーンに配置したほうがまとめやすいケースもありますので覚えておきましょう。



# ●宿泊基準階の「型」

## □基準階という「型」

宿泊室の要求数が多く、1つの階により多くの間口が必要な場合があります。必要間口数が9～10程度必要な場合、下図のような型に展開します。



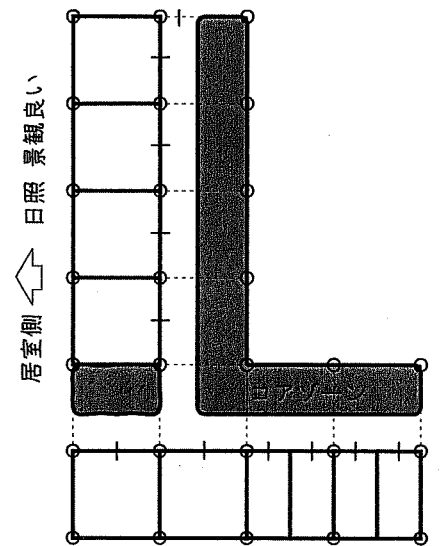
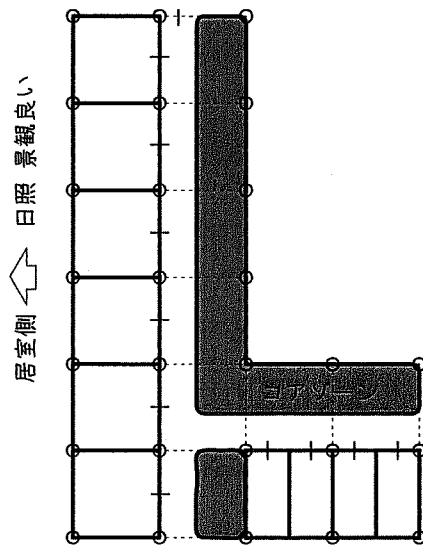
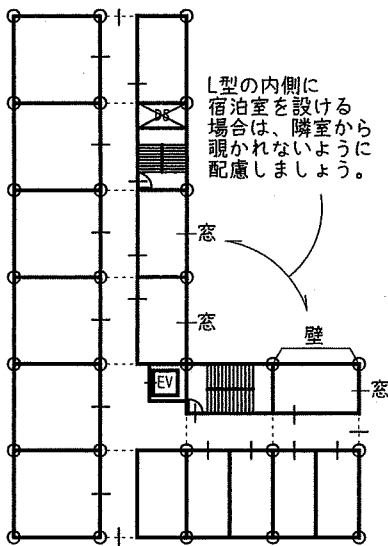
< I型のまま一部を下階に >

< L型 >

< T型 >

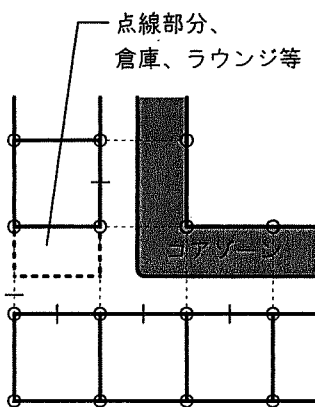
## □宿泊基準階 L型

間口数を多く確保できる宿泊基準階「L型」は、折れ部分に特徴があるだけで、それ以外の部分の考え方は、I型と全く同じです（さらに折れる回数が増えることで「コの字型」「口の字型」に展開します）。まずは、形状を見て覚えてください。

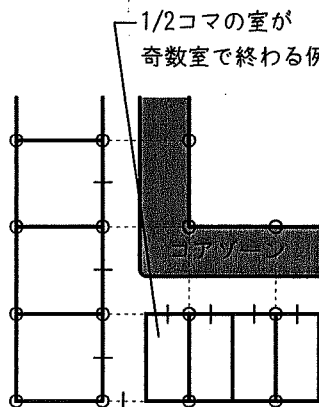


居室側 ← 日照 景観良い

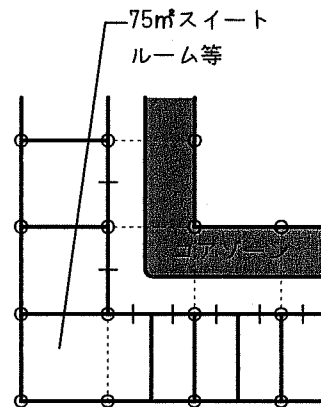
居室側 ← 日照 景観良い



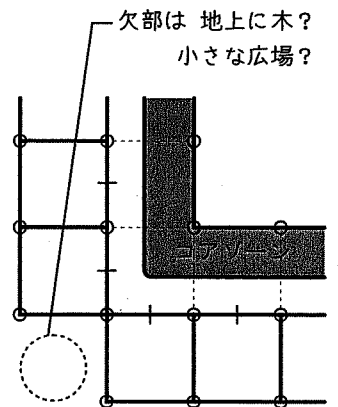
< 廊下横がち >



< 廊下縦がち >



< 折部大部屋 >

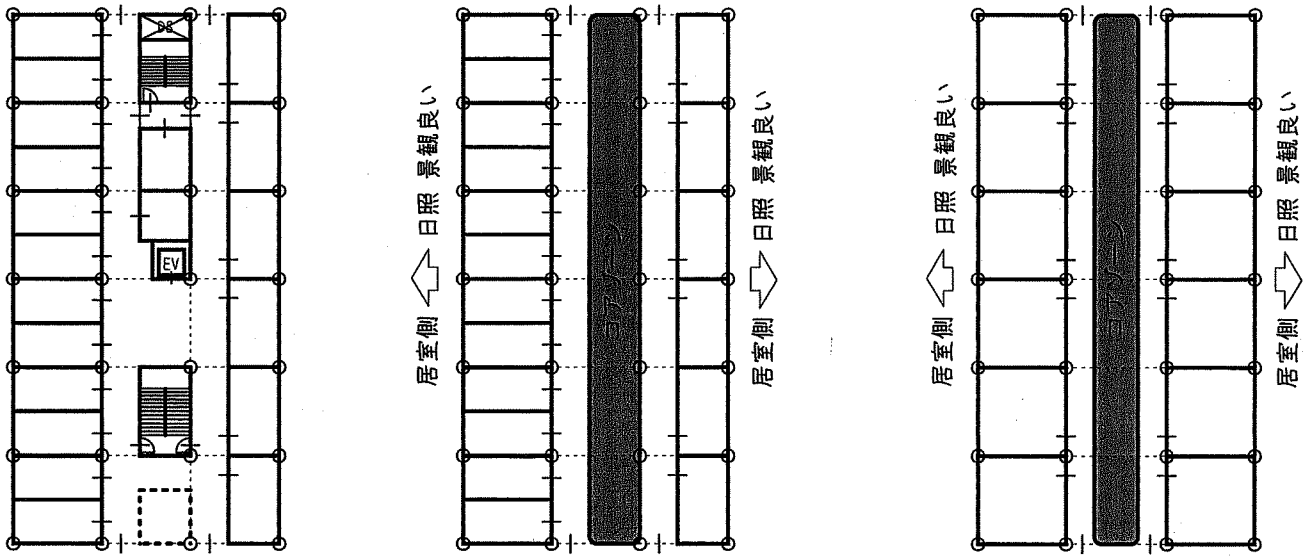


< 角1コマ欠け >

宿泊基準階 L型折れ部の例

### □宿泊基準階 TC (ツインコリドー) 型

次に、宿泊基準階「TC型 (ツインコリドー型)」の特徴を見てみましょう。居室と廊下の取り方で、大きく2つのタイプがあります。

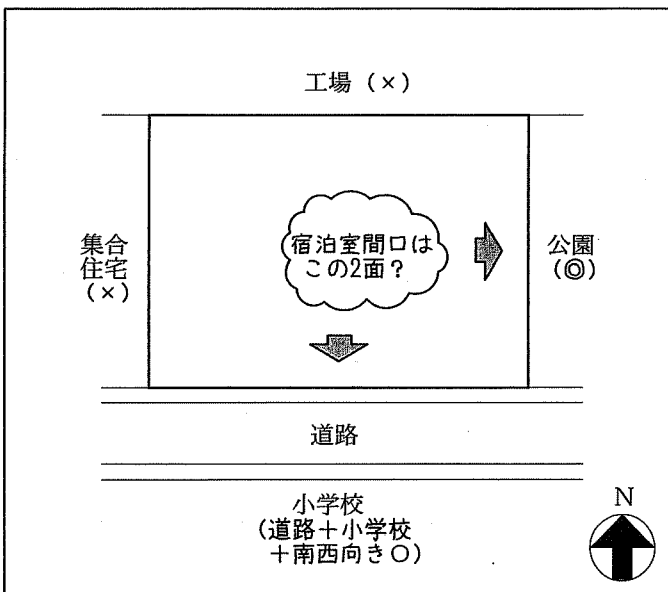


中央のスパンを8mまたは9mに広げ  
 スパン8mを 2.25m+3.5m+2.25m  
 スパン9mを 2.5m +3.5m+2.5m  
 に分割してプランする応用タイプ。

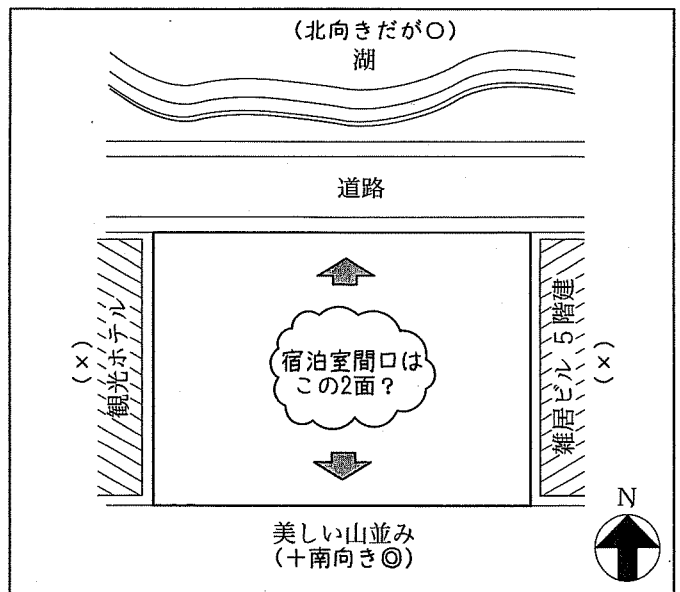
### □敷地の特徴と「L型」「TC型」

宿泊基準階「I型」よりも、ともに間口数を多く取れる「L型」「TC型 (ツインコリドー型)」ですが、この2つはどう使い分けるのでしょうか？

この2つの違いは、宿泊室側の間口が開く方向にあります。敷地 (特に隣地) の条件が良い方に居室向けるために、基準階のタイプを選ぶことができるわけです。



敷地の例1 (L型を誘導するイメージ)

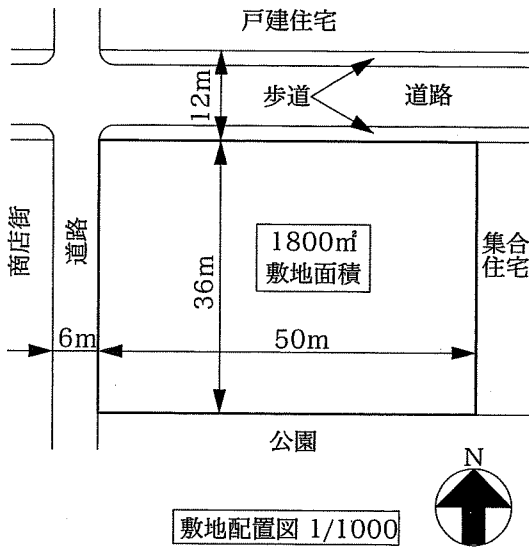


敷地の例2 (TC型を誘導するイメージ)

# ◎プランニング練習用——ミニ課題

宿泊基準階、管理部門等の構成をスタディするミニ課題を7題作成しました。このスタディの目的は、宿泊基準階の「型」を実際のプランニングに活かすコツを実感することです。ミニ課題1はエスキース例をつけて掲載します。

## ミニ課題1



室を指定の階に計画する。

柱割は、7×7スパンのRC構造（一部S造可）とする。

1階及び2階は、東西42m×南北28mの長方形平面とし、

3階はシンプルな、宿泊基準階の形状とする。

未計画部分は、そのままよい。

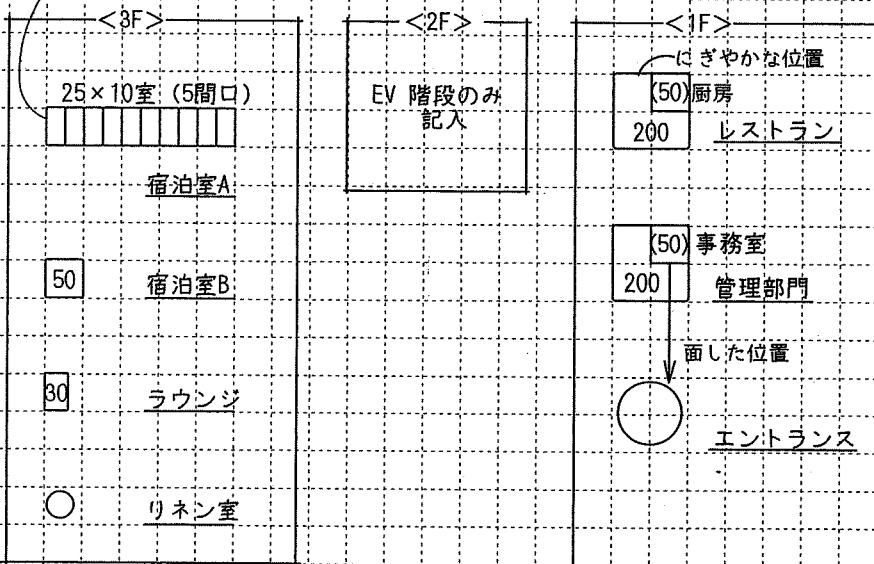
| 階  | 室名     | 面積       | 特記事項                        |
|----|--------|----------|-----------------------------|
| 3F | 宿泊室A   | 約25㎡×10室 |                             |
|    | 宿泊室B   | 約50㎡×1室  |                             |
|    | ラウンジ   | 約30㎡     |                             |
|    | リネン室   | 適宜       |                             |
| 2F |        | (適宜)     | 階段、EVのみを記入する。               |
| 1F | レストラン  | 約200㎡    | にぎやかな位置に設ける。厨房を約50㎡とする。     |
|    | 管理部門   | 約200㎡    | エントランスに面した位置に管理事務室約50㎡を設ける。 |
|    | エントランス | 適宜       |                             |

解答は、1センチを1コマとするスケールの略平面図とし、

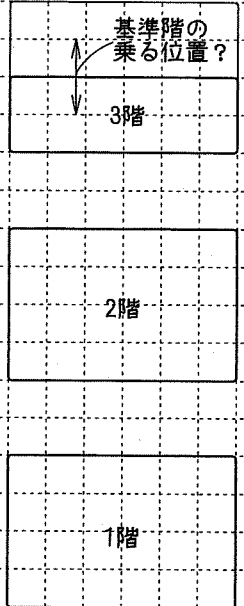
各階平面図には、室名、階段、EV、出入口（▼で図示）を表記する。

## ミニ課題1 エスキース例

条件は少ないですが、まずは関係図に描いてみましょう。  
宿泊室は間口数が見やすいように、ならべて描くとよいでしょう。



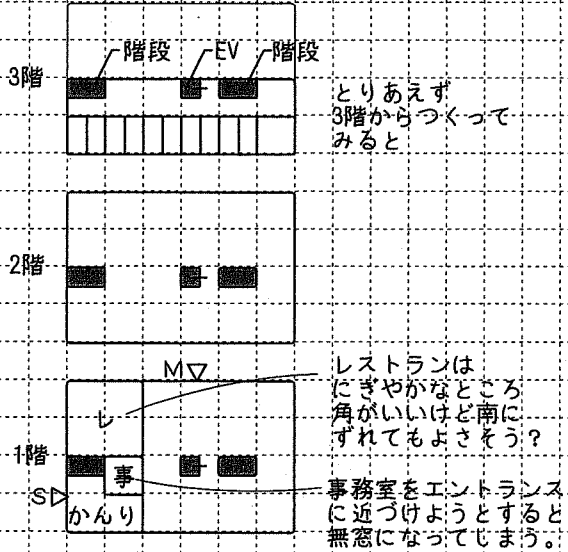
<建物の外形>  
チビコマサイズで。



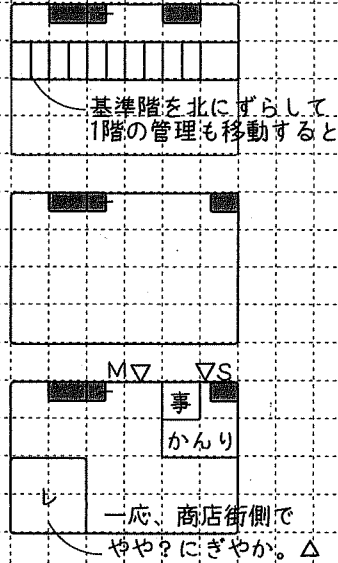
3F宿泊室は、6間口  
敷地長手の南側が◎なので  
基準階はたぶん1型南向き

関係図の内容を、建物の外形にサッと  
入れていきます。チビコマと関係図は  
同一スケールなので見やすいですね。

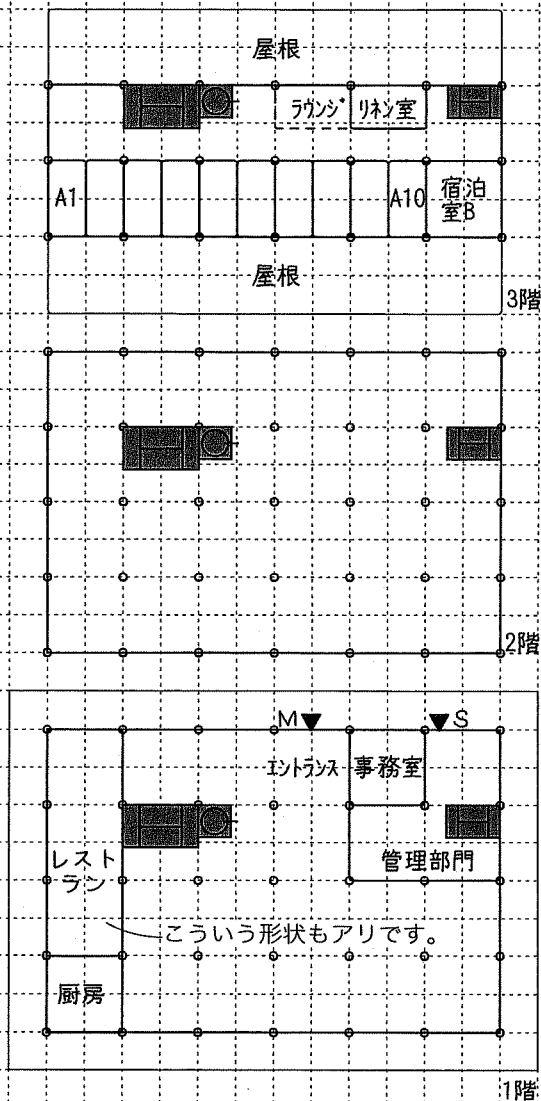
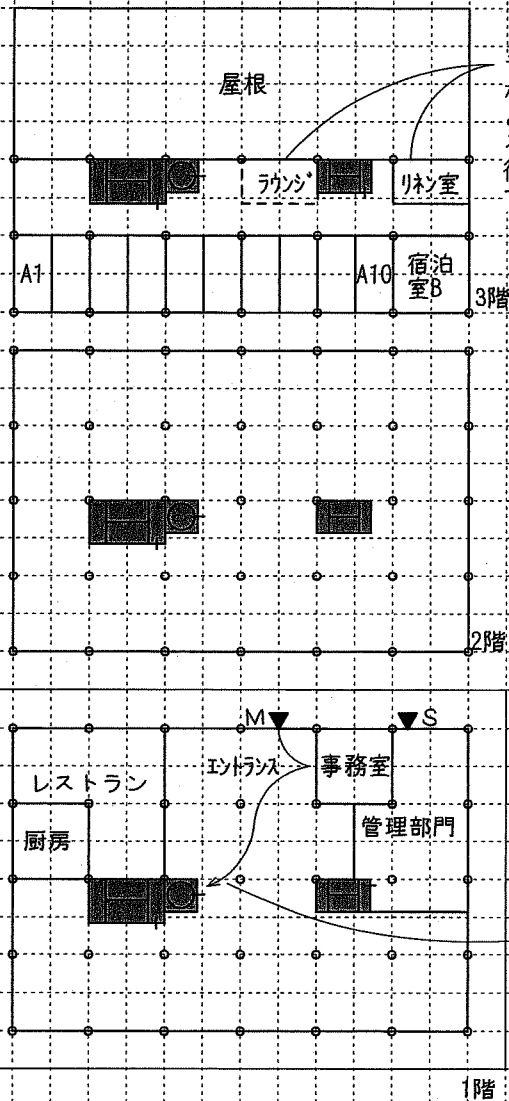
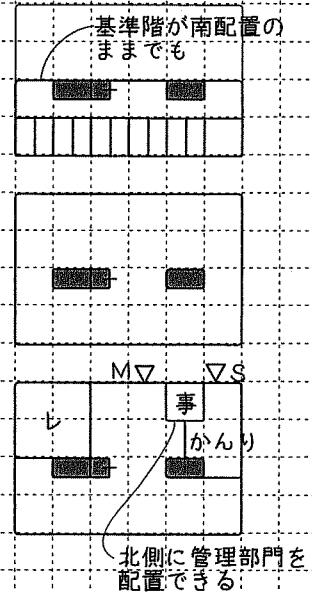
<捨てプラン1>



<捨てプラン2>



<捨てプラン3>

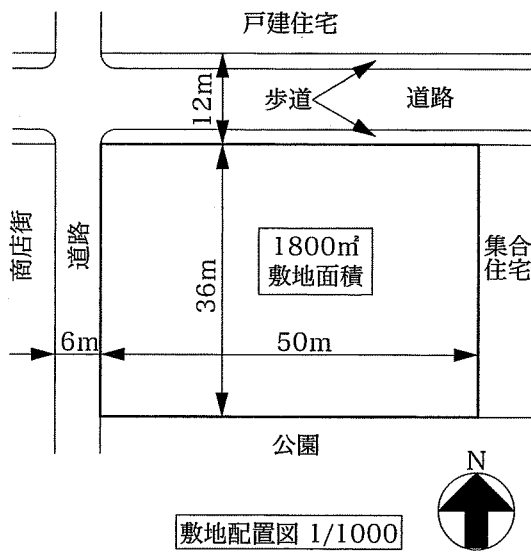


<捨てプラン3>より、1案完成です。

基準階を中央のスパンに載せた回答例です。条件がゆるいので、いろいろな別解ができますね。



### 課題2



室を指定の階に計画する。

柱割は、7×7スパンのRC構造（一部S造可）とする。

1階及び2階は、東西42m×南北28mの長方形平面とし、

3階はシンプルな、宿泊基準階の形状とする。

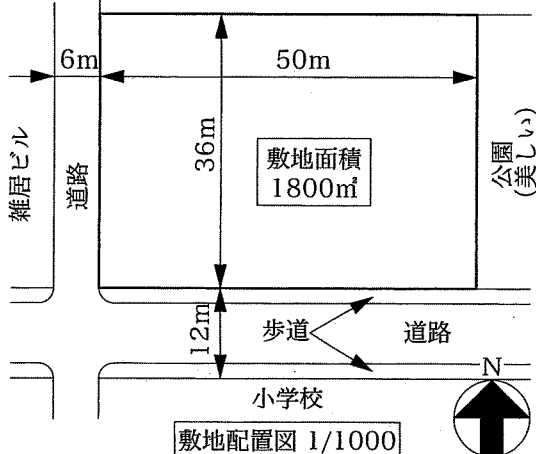
未計画部分は、そのままよい。（以下、例題4まで同じ）

| 階  | 室名     | 面積       | 特記事項                            |
|----|--------|----------|---------------------------------|
| 3F | 宿泊室A   | 約25㎡×10室 |                                 |
|    | 宿泊室B   | 約50㎡×1室  |                                 |
|    | ラウンジ   | 約30㎡     |                                 |
|    | リネン室   | 適宜       |                                 |
| 2F |        | (適宜)     | 階段 EV 吹抜等を記入する。                 |
| 1F | レストラン  | 約200㎡    | にぎやかな位置に設ける。<br>厨房を約50㎡とする。     |
|    | 多目的ホール | 約200㎡    | 天井高を5m以上とし<br>管理部門との動線に配慮する。    |
|    | 管理部門   | 約200㎡    | エントランスに面した位置に<br>管理事務室約50㎡を設ける。 |
|    | エントランス | 適宜       |                                 |

解答は、1センチを1コマとするスケールの略平面図とし、

各階平面図には、室名、階段、EV、出入口（▼で図示）を表記する。

### 課題3

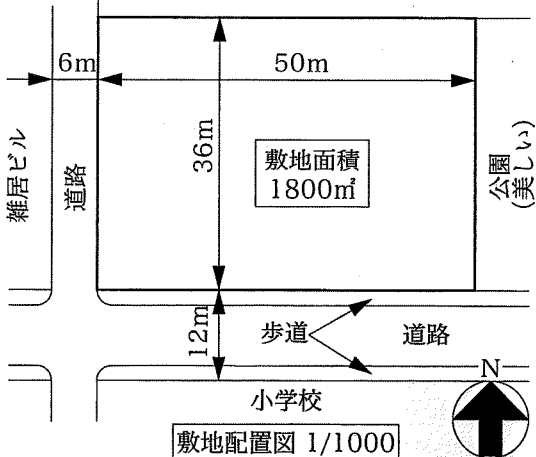


| 階  | 室名     | 面積       | 特記事項   |
|----|--------|----------|--|
| 3F | 宿泊室A   | 約25㎡×10室 |  |
|    | 宿泊室B   | 約50㎡×1室  |  |
|    | ラウンジ   | 約30㎡     |  |
|    | リネン室   | 適宜       |  |
| 2F | 多目的ホール | 約200㎡    | 建物南西の角に配置する。<br>天井高を5m以上とし<br>管理部門との動線に配慮する。 |
| 1F | 管理部門   | 約200㎡    | エントランスに面した位置に<br>管理事務室約50㎡を設ける。              |
|    | エントランス | 適宜       |  |

解答は、1センチを1コマとするスケールの略平面図とし、

各階平面図には、室名、階段、EV、出入口（▼で図示）を表記する。

### 課題4

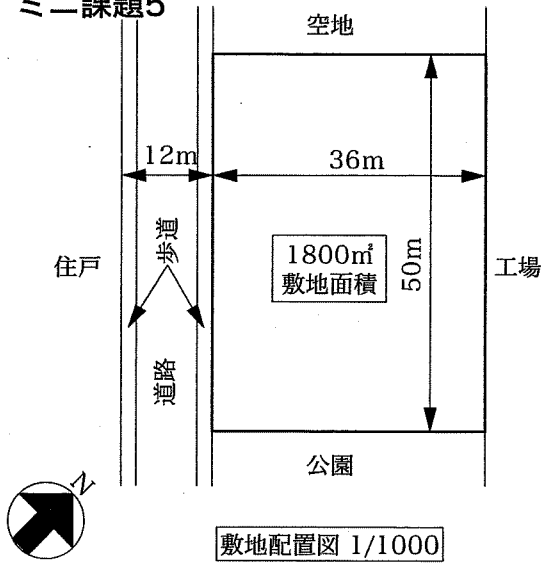


| 階  | 室名     | 面積       | 特記事項   |
|----|--------|----------|--|
| 3F | 宿泊室A   | 約25㎡×10室 |  |
|    | 宿泊室B   | 約50㎡×1室  |  |
|    | ラウンジ   | 約30㎡     |  |
|    | リネン室   | 適宜       |  |
| 2F | 多目的ホール | 約200㎡    | 建物南東の角に配置する。<br>天井高を5m以上とし<br>管理部門との動線に配慮する。 |
| 1F | 管理部門   | 約200㎡    | エントランスに面した位置に<br>管理事務室約50㎡を設ける。              |
|    | エントランス | 適宜       |  |

解答は、1センチを1コマとするスケールの略平面図とし、

各階平面図には、室名、階段、EV、出入口（▼で図示）を表記する。

### 課題5

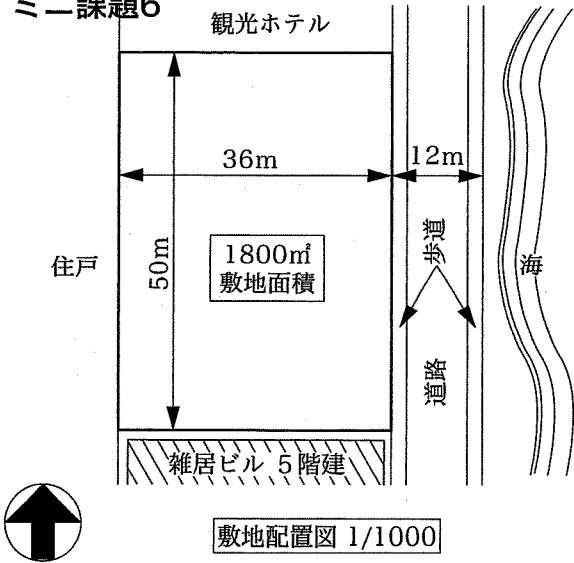


室を指定の階に計画する。  
 柱割は、7×7スパンのRC構造（一部S造可）とする。  
 3階はシンプルな、宿泊基準階の形状とする。  
 未計画部分は、そのままよい。（以下、例題6まで同じ）

| 階   | 室名     | 面積      | 特記事項                        |
|---|--------|---------|-----------------------------|
| 3F  | 宿泊室A   | 約25㎡×9室 |                             |
|   | 宿泊室B   | 約50㎡×4室 |                             |
|   | ラウンジ   | 約30㎡    |                             |
|   | リネン室   | 適宜      |                             |
| 2F  |        | (適宜)    | 階段 EV 吹抜等を記入する。             |
| 1F  | エントランス | 約150㎡   | 吹抜(約50㎡)を設け、トップライトの光を導く。    |
|   | 管理部門   | 約200㎡   | エントランスに面した位置に管理事務室約50㎡を設ける。 |
| <その他の施設><br>駐車場 車椅子使用者用 2台 (エントランスに近接させる。)<br>管理サービス用 4台<br>計 6台<br>(駐車場は、1箇所まとめて設けるものとする。) |        |         |                             |

解答は、1センチを1コマとするスケールの略平面図とし、各階平面図には、室名、階段、EV、出入口(▼で図示)を表記する。

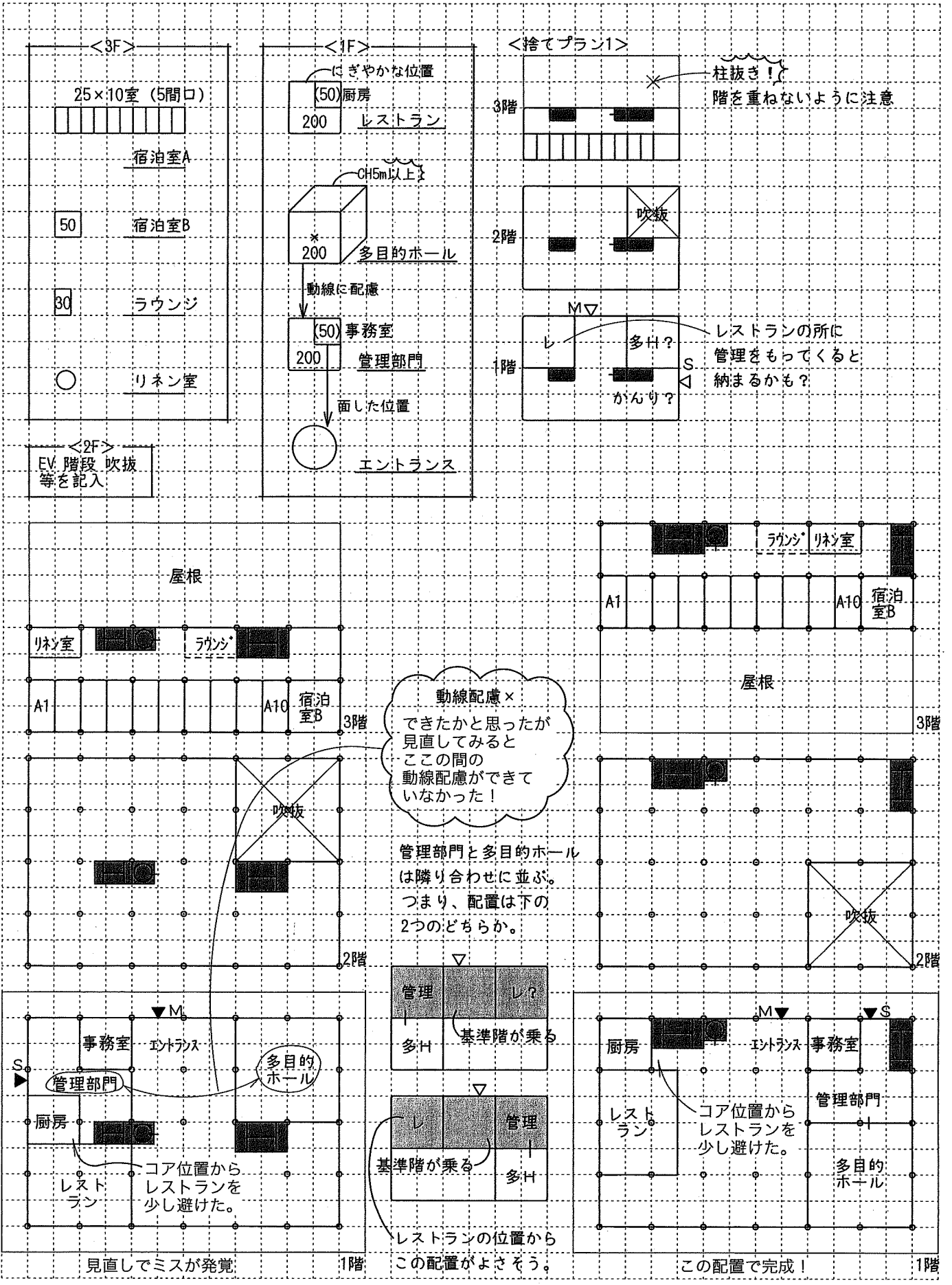
### 課題6



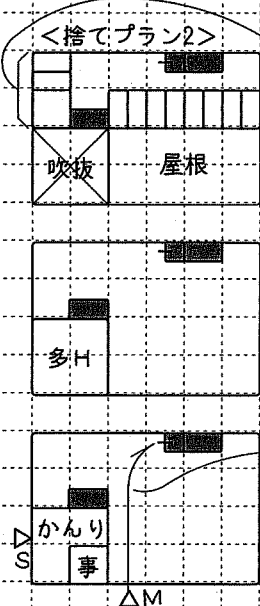
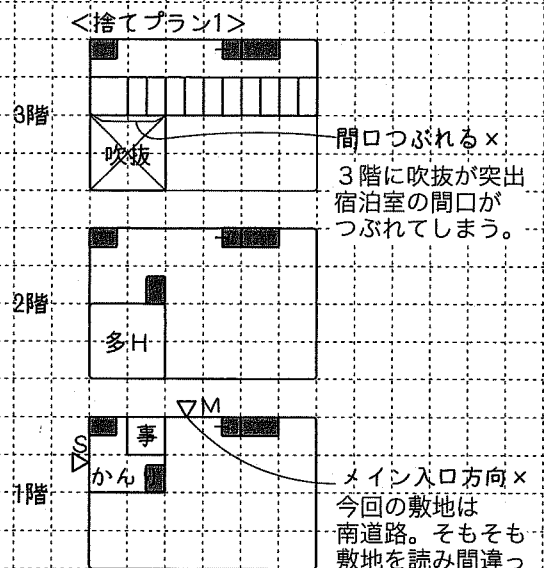
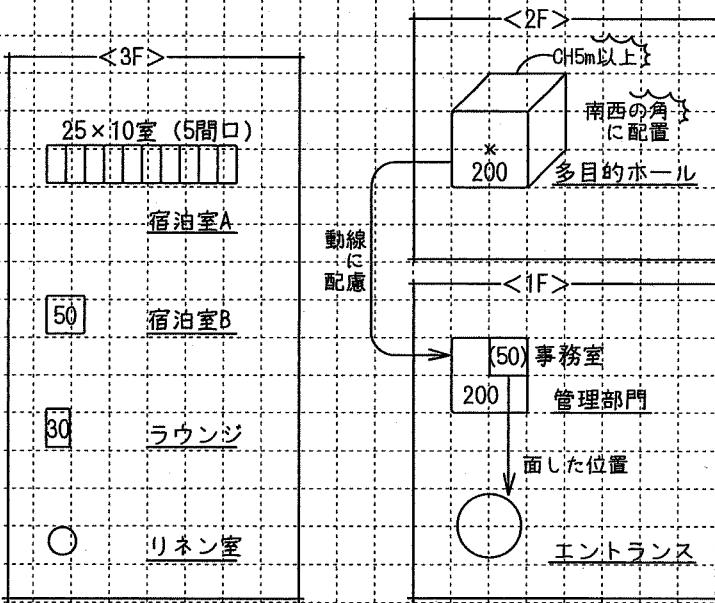
| 階  | 室名     | 面積      | 特記事項                        |
|--|--------|---------|-----------------------------|
| 3F   | 宿泊室A   | 約25㎡×9室 |                             |
|  | 宿泊室B   | 約50㎡×4室 |                             |
|  | ラウンジ   | 約30㎡    |                             |
|  | リネン室   | 適宜      |                             |
| 2F   |        | (適宜)    | 階段 EV 吹抜等を記入する。             |
| 1F   | エントランス | 約150㎡   | 吹抜(約50㎡)を設け、トップライトの光を導く。    |
|  | 管理部門   | 約200㎡   | エントランスに面した位置に管理事務室約50㎡を設ける。 |
| <その他の施設><br>潮風広場 観光客に開放された広場とし350㎡以上 (ピロティ、庇下部を除く)とする。 |        |         |                             |

解答は、1センチを1コマとするスケールの略平面図とし、各階平面図には、室名、階段、EV、出入口(▼で図示)を表記する。

# ミニ課題2 エスキース例

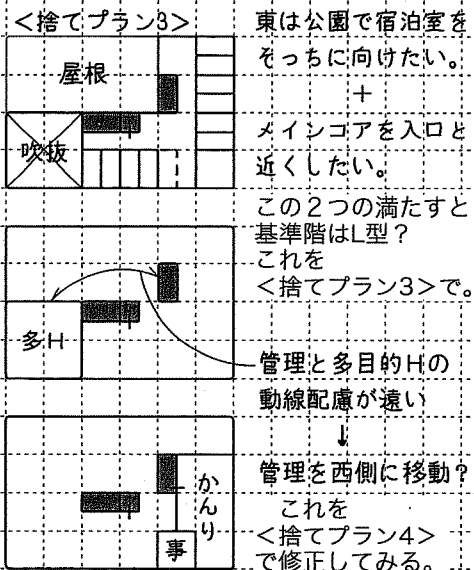
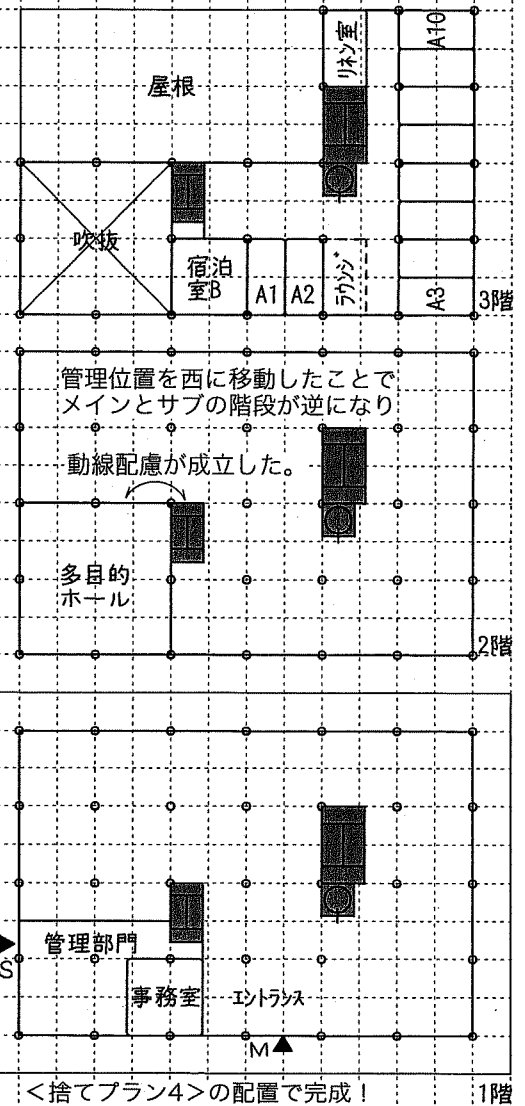


# ミニ課題3 エスキース例



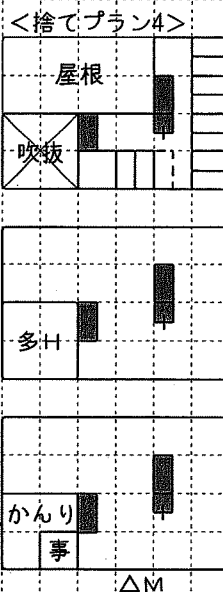
景観を活かしていない×  
間口のつぶれた宿泊室を  
西に向けて配置してみたが  
細い道路と雑居ビル  
の方に向いてしまった。  
(東向きは公園で景観が良い  
のに活かしていない。)

入口とコアが遠すぎ×  
入口を南入りに変更  
メインのコアがものすごく  
奥になってしまった。

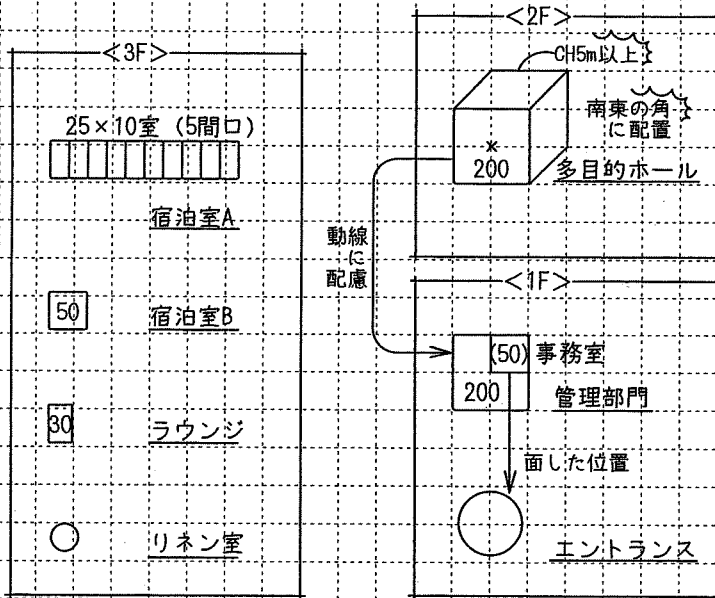


東は公園で宿泊室を  
そっちに向けたたい。  
+  
メインコアを入口と  
近くしたい。  
この2つの満たすと  
基準階はL型?  
これを  
捨てプラン3で。

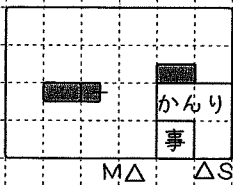
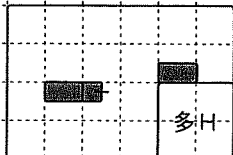
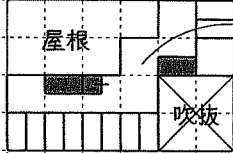
管理と多目的Hの  
動線配慮が遠い  
↓  
管理を西側に移動?  
これを  
捨てプラン4  
で修正してみる。



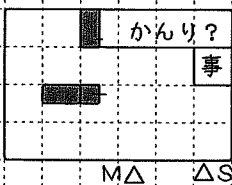
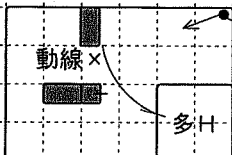
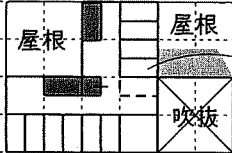
# ミニ課題4 エスキース例



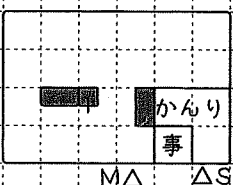
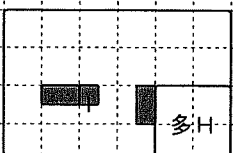
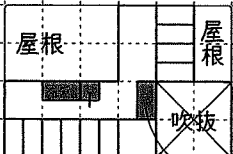
<捨てプラン2>



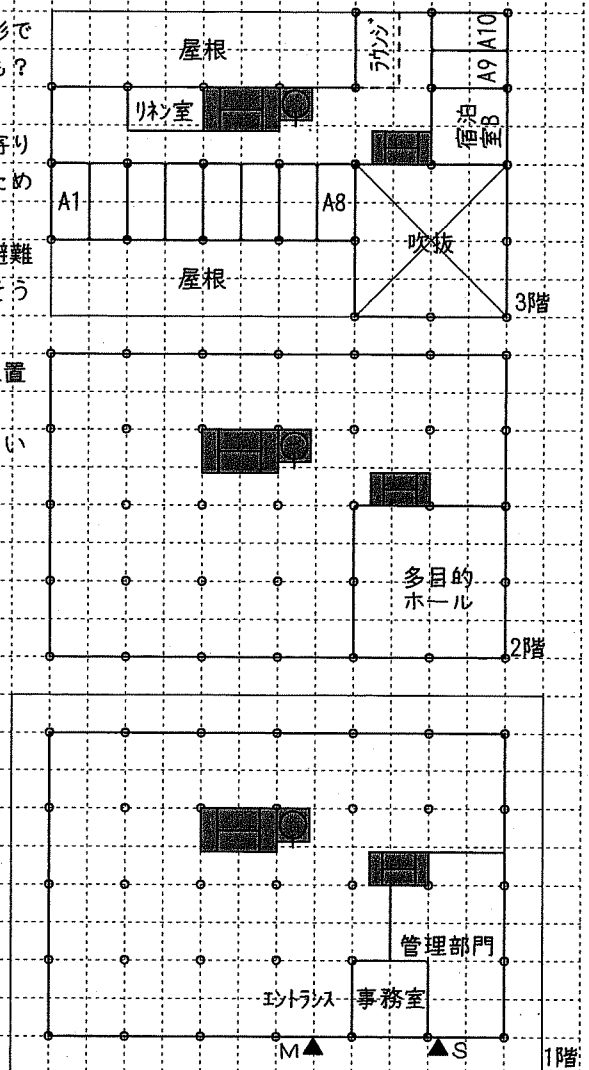
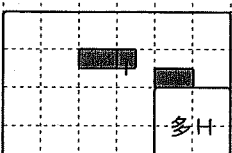
<捨てプラン3>



<捨てプラン4>

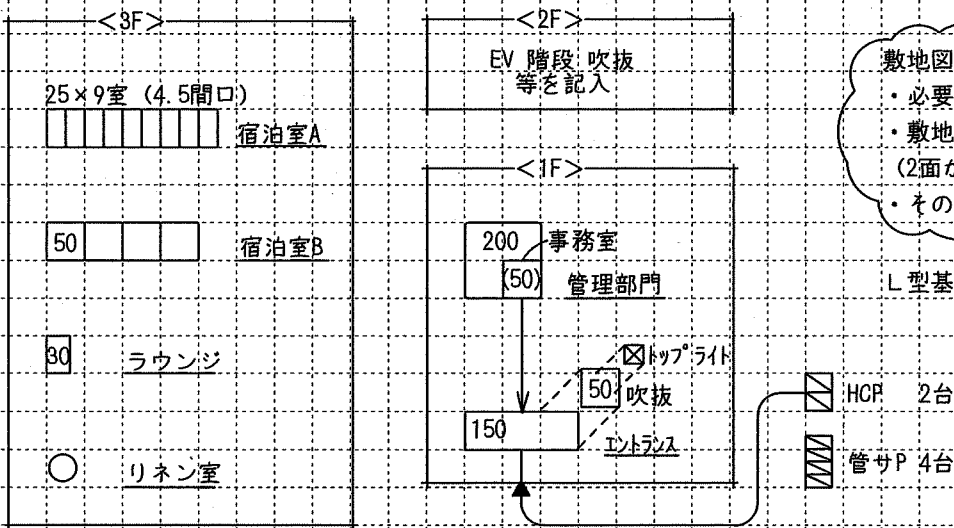


<捨てプラン5>



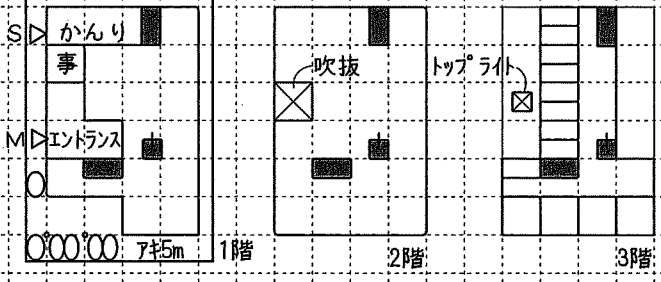
解答は、捨てプラン4、5 どちらでも良いですね。

# ミニ課題5 エスキース例



敷地図より  
 ・必要間口が8.5と多い  
 ・敷地の方位がふれている  
 (2面が南面する)  
 ・その2面の環境が良い  
 ↓  
 L型基準階でプランしたい。

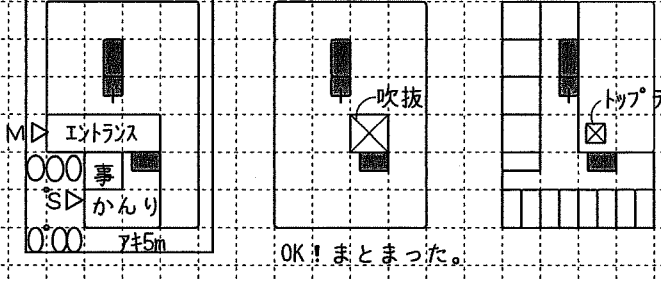
## <捨てプラン1>



## <捨てプラン1>

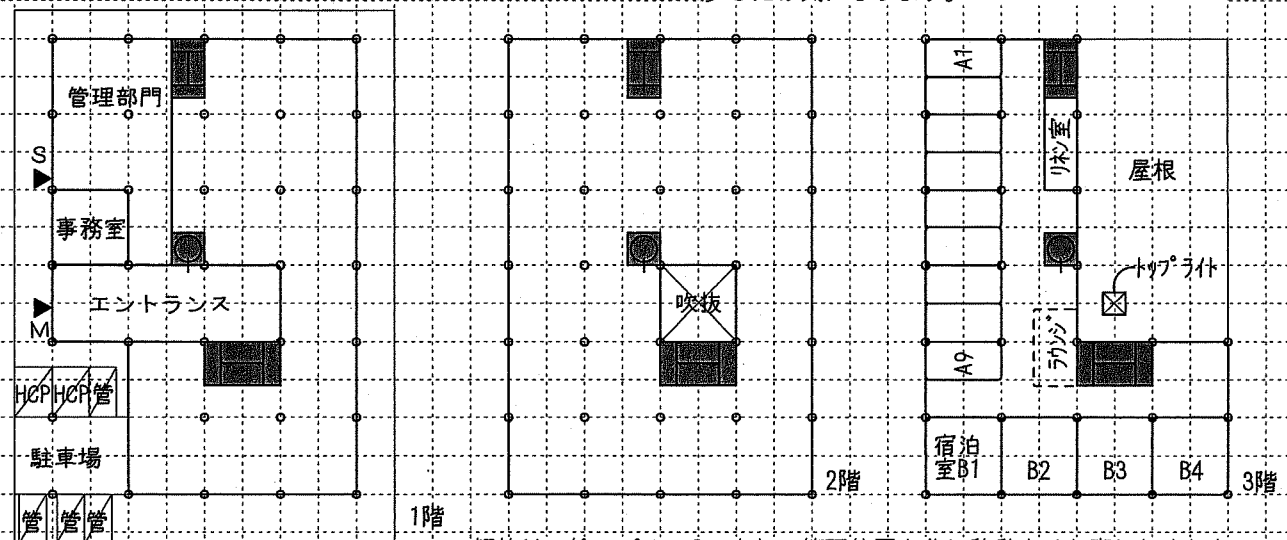
駐車場(6台1箇所)を青空としたり吹抜トップライトを第一印象のみで道路側に配置したりすると宿泊基準階L型の基本形が崩れておかしな形になります。これでも間違いではありませんが、きれいにプランできる状況でこの形を選ぶのはあまり上手ではありませんね。

## <捨てプラン2>



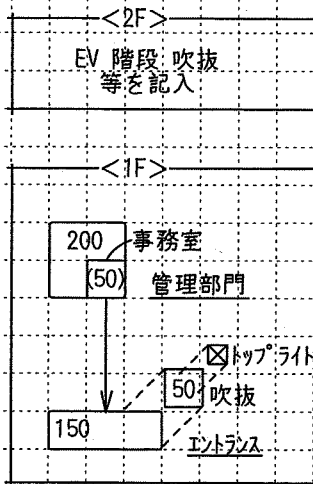
## <捨てプラン2>

事務室の採光および換気を管理駐車場越しにとっている点のみいまいちですが、管理駐車場と管理部門が近接し管理動線がととてもコンパクトにまとまっています。1階の南側の採光景観とも一番いい場所が管理部門と駐車場になっているのが、(条件を守っているので問題はないのですが)少しだけ気になります。



解答は<捨てプラン2>より、管理位置を北に移動させた案にしました。

# ミニ課題6 エスキース例

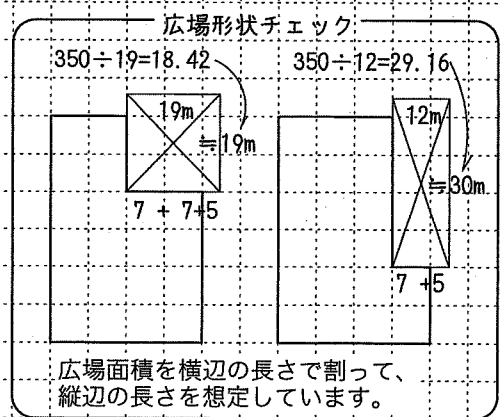


350以上

観光客に開放された  
潮風広場

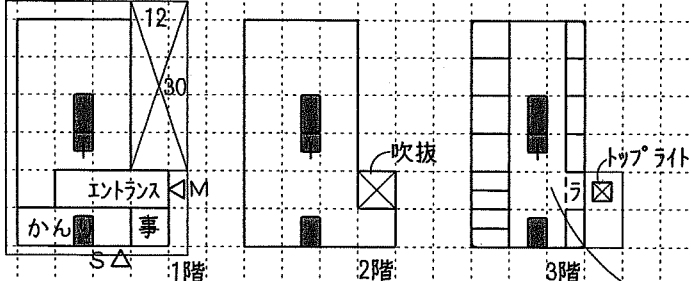
敷地図より  
 ・南の景観が××  
 ・東西2面の環境が良い

TC型基準階でプラン  
 あるいは、中廊下?

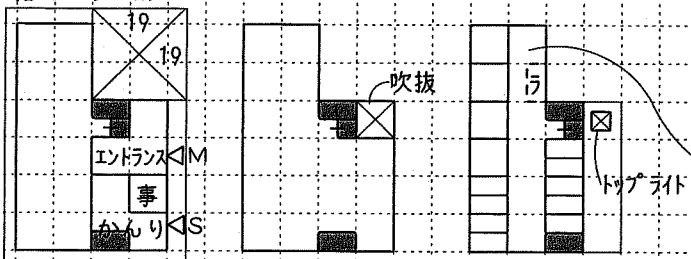


広場面積を横辺の長さで割って、  
 縦辺の長さを想定しています。

<捨てプラン1>



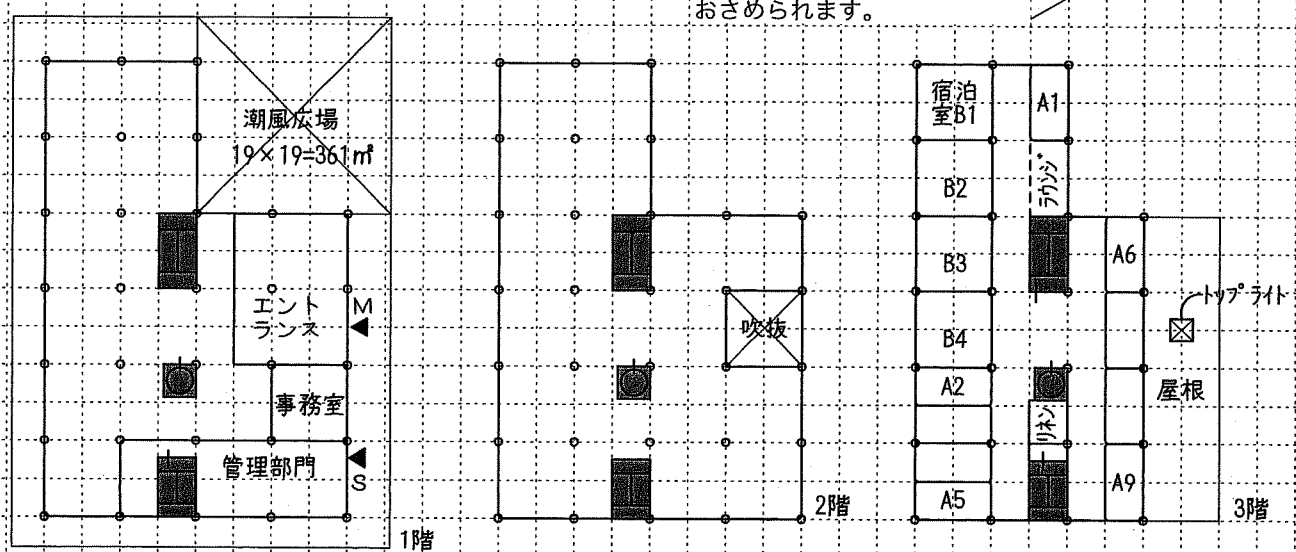
<捨てプラン2>



<捨てプラン1>  
 TC型基準階を使うために  
 広場を細長い形状にして  
 3コマ幅の最上階を確保  
 した例です。

<捨てプラン2>  
 間口に余裕がある場合は  
 このような中廊下でも可能  
 面積はむしろコンパクトに  
 おさめられます。

どちらも  
 OKです。



解答では、捨てプラン1, 2の折衷案にしてみました。

## ●プランニング練習のまとめ

### ▶ミニ課題がもつ意味

ここまでの6つのミニ課題は、限られた条件からなるはずなのに、解いてみると、実際の課題をプランニングする時の状況に酷似しています。それは、なぜなのでしょう？

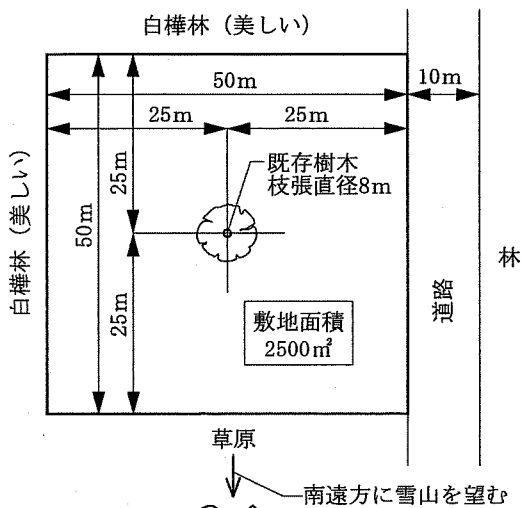
実際の課題でも、たくさんある条件の全てを並列させて解いているわけではありません。条件の細かい部分はいったん棚に上げておき、大きな構成要素のみを取り出して解いているのです。逆に言うと、プランニングの初期に取り組むべき内容は、このミニ課題と同じような、とても単純な構成要素を組み合わせることなのです。

### ▶条件を単純な構成として見るために

では課題文の多くの条件の中から、単純な構成要素を的確に取り出すには、どうしたらよいのでしょうか？ それには、建物の条件を単純な図式として見る力が必要になってきます。

ビジュアルエスキースは、こういった単純な構成要素を見つけ出すのに適しています。この方法を活用するためには、まずゾーニングと動線計画を正しく理解すること、そして、単なるアイデアや知識としてではなく、何度も実践し身につけることです。様々な課題を通じて、どんな要素がどのように構成されているのか、特に復習する際に意識して見てみるのが重要になります。ミニ課題7についてはサポートサイトで解説しています。

### ミニ課題7



敷地配置図 1/1000

2階建てのRC構造の建物とする。  
床面積を2300~2800㎡とする。

| 室名     | 面積       | 特記事項                 |
|--------|----------|----------------------|
| 宿泊室は、  |          | 景観およびプライバシーに配慮する。    |
| 宿泊室A   | 約25㎡×6室  |                      |
| 宿泊室B   | 約50㎡×12室 |                      |
| 宿泊室C   | 約100㎡×1室 |                      |
| ラウンジ   | 約50㎡     |                      |
| リネン室   | 適宜       |                      |
| 洗濯室    | 適宜       |                      |
| レストラン  | 約250㎡    | アルペン広場に面し出入できるものとする。 |
| ロビー    | 約100㎡    | エントランスの近くに設ける。       |
| エントランス | 適宜       |                      |
| 管理部門   | 約200㎡    | エントランス近くに、フロントを設ける。  |
| ボイラー室  | 約200㎡    | 1階に設ける。              |

#### <その他の施設>

- アルペン広場 雪山が望める位置に400㎡以上（ピロティ、庇下部を除く）とする。  
施設利用者のための広場とし、既存樹木を含んでもよい。
- 駐車場 10台分（うち、車椅子使用者用1台を含む）を、1箇所にとまとめて計画する。

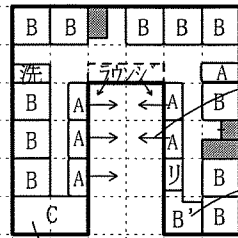
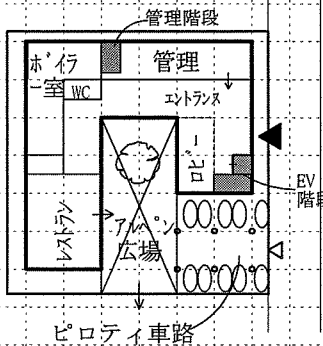
※ミニ課題7の解答例は「わかるエスキースサポートサイト」よりダウンロードできます。  
<http://gakkaseizu.com/wakaru/>

解答は、1センチを1コマとするスケールの略平面図とし、各階平面図には、室名、階段、EV、出入口（▼で図示）を表記する。



例題7 エスキース例-2

● A案その1



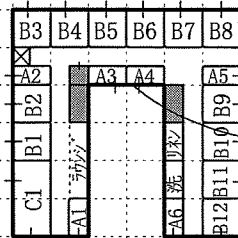
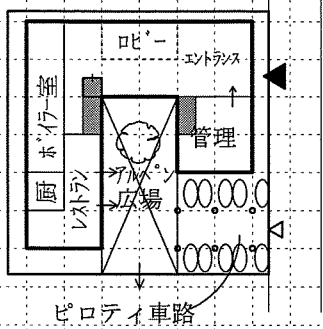
景観とプライバシーに配慮から、中庭に面する部屋は避けたい。

B'って。プラン下手。(コアの配置で間口を損してる?)

階段が寄っているため、2方向避難がアウト (屋外階段も付けにくい)

1階からプランニングしてみたところ、2階で不用意な位置にコアが出てしまい、宿泊室がうまく納まらない。2階のコアゾーンを意識しつつ、A案のその2をつくる。

● A案その2



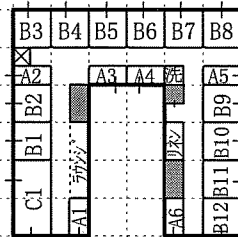
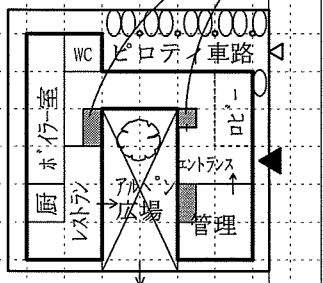
コアをコアゾーンにきっちり納めると宿泊室を最も多く並べられる。

中庭側の配置は、南向きのみとして景観とプライバシーに配慮。

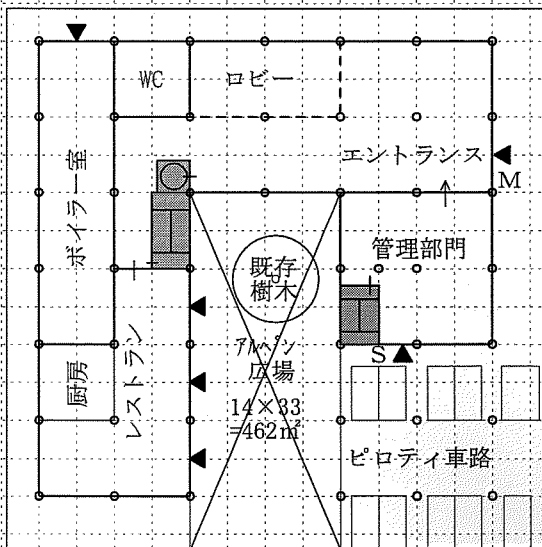
これで1案OK

メインのEVと階段を離してプランした。

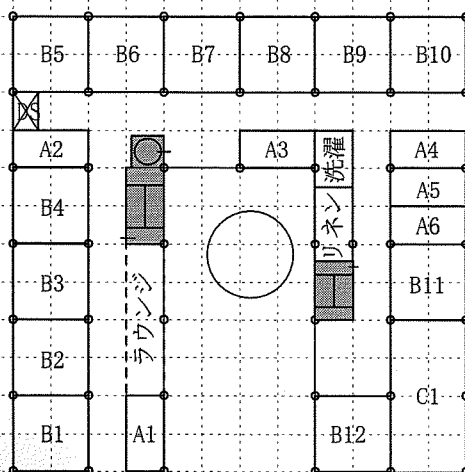
● B案



● まとめ



1階 1176m<sup>2</sup>

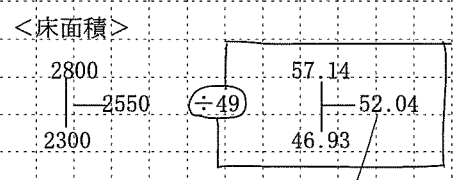
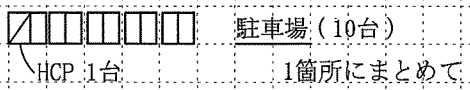
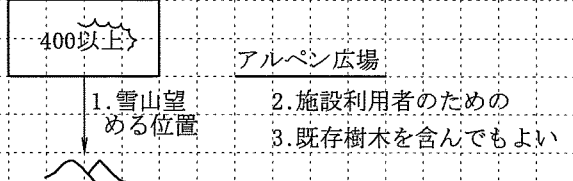
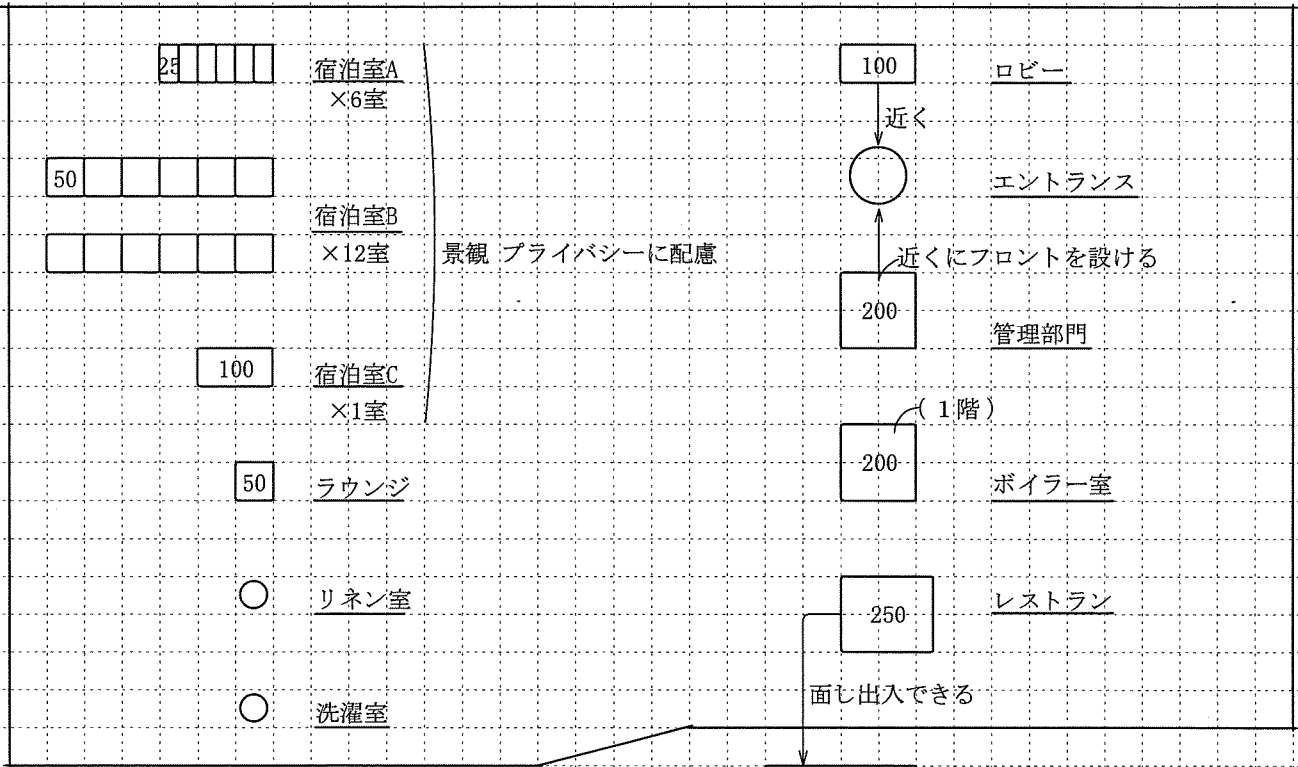


2階 1372m<sup>2</sup>

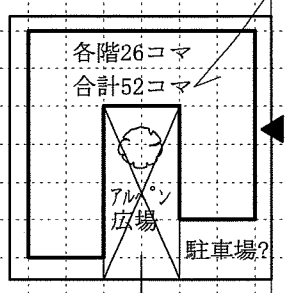
A案その2よりプランを少しリファインしてまとめました。

合計2548m<sup>2</sup>

例題7 エスキース例-1



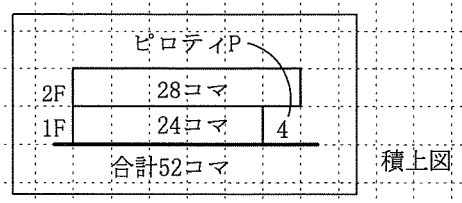
●建物配置案



- ・1階、2階各26コマで合計52コマ  
およそターゲット面積
- ・アルペン広場は既存樹木を含み  
南側を開けて雪山を望む

→駐車場10台(1箇所にまとめて)がとれない。ピロティ駐車場とする?

●ピロティPをイメージした建物配置案



→A案 B案  
駐車場位置から2通りのタイプを想定してみました。あとは実際にプランしてみましょう。

